

働き方改革企業を労働局長が視察

12月17日 18時09分



新型コロナウイルスの感染が拡大する中、社員の負担を減らすためにテレワークなどを進める都内の企業を東京労働局長が視察しました。

17日は東京労働局長の土田浩史局長が、東京・中央区にある人形の製造販売会社を訪れました。

この会社では、およそ30人の従業員のほとんどが女性で、仕事と家庭の両立を後押ししようという取り組みを3年前から始めました。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、通勤などの社員の負担を減らすために半数以上の従業員が週2日ほど、在宅勤務などのテレワークを行っています。

当初はテレワークに慎重だったということですが、仕事の進捗（しんちやく）などの情報共有を徹底したり、始業や終業などの連絡を行ったりすることで、生産性を維持することができたということです。

また、社内のパソコンにチャット機能を導入し、すべての従業員が情報を同時に共有できるようにするなどした結果、作業の効率化が進んで1か月の労働時間を平均でおよそ7時間減らすことができたということです。

女性従業員の1人は「職場で情報が共有されて休みが取りやすい雰囲気です」と話していました。

土田局長は「自分たちの働き方を把握し課題を踏まえて工夫することが働き方改革には重要だ。労働局でも参考になる事例を紹介し中小企業の取り組みを支援していきたい」と話していました。

シェアする ?



全国のニュース



東京都 新型コロナ 822人の感染確認 これまでで最多 17時47分



【詳報】東京都 小池知事 臨時記者会見 19時28分



新潟 関越道 大雪で車立往生 陸自到着 作業の進めめぐり協議 19時19分



【NHKドローン映像】新潟 関越道 大雪で車の立往生続く 18時00分



仏 マクロン大統領 新型コロナ PCR検査で陽性判定 19時16分



新潟・群馬の山沿いで大雪 18日夜以降 雪は再び強まるおそれ 18時47分



東京都 専門家会議 医療提供体制 最も高い警戒レベルに 19時01分

▶ 全国のニュースを見る